

部局名	産業活力部	所属名	農政課	所属長名	宮崎 裕治	電 話	483-1151 内線3561
-----	-------	-----	-----	------	-------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	3269		事務事業名称	農業生産基盤整備事業					短縮コード	経常		臨時	3269
予算区分	会計	01	一般会計	款	06	農林水産業費	項	01	農業費	目	06	農地費	
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> その他			根拠法令等		食料・農業・農村基本法，土地改良法，経営体育成基盤整備事業実施要綱，八千代市補助金等交付規則，八千代市土地改良事業等補助金交付要綱，水資源機構法							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
農業近代化のため，農業生産基盤の再整備を促進し，生産費のコスト縮減，農業生産性の向上を図り，農業経営の合理化，担い手の育成を図る。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	6本の柱（章）	06	第6章産業活力都市をめざして						
印旛沼開発事業で整備された農業用施設の老朽化により改修事業を実施したが，今後も多くの農業用施設の老朽化が懸念される。 また，市内の水田については再基盤整備がされていないところもあり，対応が求められる。					大項目（節）	01	第1節農業						
					中 項 目	01	1. 農業						
					小項目（施策）	01	(1)農業生産基盤の整備と利活用						
					細 項 目	02	②ほ場の整備						
実施計画の計画事業	6097	水田再基盤整備事業											
計画事業の位置付けの有無			<input type="checkbox"/>	計画事業期間		～			計画事業費		千円		

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	農用地 農家担い手 印旛沼開発施設 千葉県							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成24年度に実際に行ったこと： 県営土地改良事業（平戸2期地区）への参画・協力， 水資源機構営印旛沼開発施設緊急改築事業への協力， 新規事業化希望地区の支援							
	※平成25年度に計画していること： 県営土地改良事業（再基盤整備）への参画・協力， 水資源機構営印旛沼開発施設緊急改築事業への協力， 再基盤整備事業(新規地区)の調査及び事業採択へ向けた支援							
意図 （何を狙っているのか）	農地の再基盤整備により、農業生産性の向上を図る。 印旛沼開発施設緊急改築事業により、農地への用水の安定供給及び周辺農地及び宅地等への洪水防止。							
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外							
区 分				単位	2 3 年度	2 4 年度		2 5 年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	整備必要面積	ha	517.9	517.9	517.9	517.9	
	指標 2	負担金	円	3,996,809	3,674,000	3,572,492	3,256,000	
	指標 3							
活動指標	指標 1	再基盤整備事業実施済面積	ha	307.6	307.6	307.6	307.6	
	指標 2							
	指標 3							
成果指標	指標 1	再基盤整備率	%	60	60	60	60	
	指標 2							
	指標 3							
上位成果指標	指標 1							
	指標 2							
	指標 3							

コード		3269	事務事業名称	農業生産基盤整備事業			所属名	農政課
			単位	2 3 年度	2 4 年度		2 5 年度	
				実績	計画	実績	計画	
事業費 (A)	財源内訳	国	千円	0	0	0	0	
		県	千円	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	
		一般財源	千円	3, 997	3, 674	3, 573	9, 256	
		その他	千円	0	0	0	0	
	主な事業費の内訳			負担金 3, 997千円	負担金 3, 674千円	平戸 2 期地区土地改良事業負担金317千円 印旛沼開発施設緊急改築事業負担金3, 256千円	土地改良基礎調査6, 000千円 印旛沼開発施設緊急改築事業負担金3, 256千円	
	人件費 (B)			千円	8, 929. 8	7, 365. 6	9, 546. 4	12, 666. 4
ト ー タ ル コ ス ト (A) + (B)			千円	12, 926. 8	11, 039. 6	13, 119. 4	21, 922. 4	

3. 事務事業の評価（S E E）

評価 類型	評価事項		評価区分	理 由										
目的 妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		<input checked="" type="checkbox"/> 結び付いている	「農業生産基盤整備事業」は上位の施策「農業生産基盤の整備と利活用」のために推進しており，結びついている。										
			<input type="checkbox"/> 結び付くが見直しの余地がある											
			<input type="checkbox"/> 結びつきが弱い・ない											
			<input type="checkbox"/> 評価対象外事項											
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		<input type="checkbox"/> 達成している	再基盤整備必要面積の60%の整備であり，今後も整備を行う必要がある。										
			<input checked="" type="checkbox"/> 達成していない											
			<input type="checkbox"/> 評価対象外事項											
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		<input type="checkbox"/> 可能性はある	農業生産基盤整備事業に係る事務事業は受益農家への支援や事業費への負担事務など市が担うべき事業であるため，民営化はなじまない。										
			<input checked="" type="checkbox"/> 可能性はない											
			<input type="checkbox"/> 評価対象外事項											
④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		<input checked="" type="checkbox"/> 現状のままでよい	現状の対象と意図で，農業生産基盤の安定という結果に結びつく。											
		<input type="checkbox"/> 見直す必要がある												
		<input type="checkbox"/> 評価対象外事項												
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－2，3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		<input type="checkbox"/> 有効性向上の可能性はある	この事業の実施主体は千葉県であるが，市農振計画や市基本構想等との整合性を図りながら，県の施策の展開により市も主体的に実施し，受益者に協力・支援しているが，今後さらに効率性を向上させることは難しい。										
			<input type="checkbox"/> 効率性向上の可能性はある											
			<input type="checkbox"/> 両方可能性はある											
			<input checked="" type="checkbox"/> 可能性がない											
	⑤－2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。		<input type="checkbox"/> 民間委託等											
			<input type="checkbox"/> 再任用職員及び臨時的任用職員等の活用											
			<input type="checkbox"/> IT化等の業務プロセスの見直し											
			<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し											
			<input type="checkbox"/> 類似事業との統合・役割見直し							類似 事務 事業 名称	1		実施主体 (所管部署)	
			<input type="checkbox"/> 上記以外の方法								2		実施主体 (所管部署)	
			⑤－3 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）							<input type="checkbox"/> ある				
	<input type="checkbox"/> ない													

コード	3269	事務事業名称	農業生産基盤整備事業				所属名	農政課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。				<input type="checkbox"/> 改革・改善して継続		農業生産性の向上，効率的，安定的な農業経営の確立等を推進するため，土地基盤の整備及び農用地の利用促進等の推進を支援する。	
					<input type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善			
					<input type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小			
					<input type="checkbox"/> 統合・役割見直し			
	<input type="checkbox"/> その他							
<input type="checkbox"/> 廃止・休止								
<input type="checkbox"/> 事業完了								
<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			老朽化による施設機能の低下が著しいことから用排水施設の改修・整備を行う目的であり，今後も継続が必要とされている。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
			不 変	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
			低 下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
集落の水田営農と農地保全のため、営農組織の設立、担い手育成のための農地流動化の促進を積極的に進めてほしい。 生産性の高い農業経営を確立し，農業の近代化を推進するため，再基盤整備事業を推進して欲しい。									

所属長コメント	水田再基盤整備を行うことにより，農地の保全及び農地の流動化を促進し担い手の育成を図り，農業経営の安定化や近代化を推進する。								
	評価調整委員会評価	<input type="checkbox"/> 改革改善して継続			担当課の評価とおり，現状のまま継続とする。				
		<input type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善							
		<input type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小							
		<input type="checkbox"/> 統合・役割見直し							
<input type="checkbox"/> その他									
<input type="checkbox"/> 廃止・休止									
<input type="checkbox"/> 事業完了									
<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続									